

東西条地区住民自治協議会だより

「人と歴史と緑が醸す笑顔と交流のまち東西条」



第57号

令和4年7月25日発行

東西条地区住民自治協議会 事務局 TEL/FAX 082-421-2023

台風の季節です。防災対策を考えましょう！

今年は、6月14日に梅雨入りしましたが2週間で明けました。まとまった雨が降らないうちに、30度を超える真夏の猛暑となりました。暑い毎日が続いています。水分の補給やエアコン等の活用により暑さ対策を行っていただきますようお願い申し上げます。

これから、台風や集中豪雨の季節になります。今年6月には、東広島市から「中小河川ハザードマップ」が全戸配布され、その中では浸水想定区域、過去の災害発生箇所、土砂災害警戒区域、河川浸水区域などが記載されています。ご家族でハザードマップの内容を確認して、災害時の避難経路などを話し合い、災害に備えてください。大雨警報や避難情報等が発令されましたら、これまで災害がなかったから大丈夫と思わず、早めの避難をお願いします。

3年目に入ったコロナ禍は、感染者が減少傾向でしたが、感染力の強いオミクロン株のBA.5への置き換えが進み、感染の再拡大がはじまったと報じられています。

当自治協では、引き続き、基本的な感染防止対策を講じ、三密を避けながら各部会で活動に取り組んでいます。

6月5日開催の市民スポーツ大会の球技の部(グランドゴルフ・ソフトバレーボール)では、選手の方のご活躍により1位となりました。おめでとうございます。

また、3年間中止していた「吉土実盆踊り」は、今年4年ぶりの開催をめざし、6月・7月の土曜日夕方に体験教室を開いており、子どもさんを含む多くの市民の皆さんに参加いただいています。

土与丸歩道橋は6月から11月まで改修工事が行われ、その間、東西条小学校の通学路は、藤田沖交差点の横断歩道を渡るコースに変更されています。毎日、東西条みまもりネットの皆さん、小学校の先生、PTAの皆さん、市依頼の警備員さん達によって、児童が安全に登下校するための取り組みが行われています。

紹介しましたのは取組みの一部ですが、皆さんの日々の安心安全の確保や地域活性化・健康増進などの活動に深く感謝を申し上げます。

暑い時期ですので、どうか体調には十分気を付けてください。引き続き、自治協に対するご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。 東西条地区住民自治協議会 会長 井林宏司

『事務局からのお知らせ』

皆さん、少しずつ暑くなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。

- ① 当住民自治協議会では、地域の皆様から地域課題の解決、生活上の要望、工事施工要望などを市役所・各部局や課へ申請しております。令和3年度までの要望未処理は、工事施工に関し入札不調などで遅れてますが全て検討中です。今年度(4年度)末には終わると思われ
- ② 通学路の「交通安全のぼり旗」を交換しています、設置など要望があれば申し付け下さい。



『 6 部 会 の活動報告 』

○ 総務部会

部会では、5月15日に今年度の活動についての会議を開きました。

主な活動としては

- 各区への月1回の回覧の準備
- 年間行事カレンダーの作成
- 市域の困りごと相談・市への申請
- 回覧板の表紙を改訂（9月頃）
- 参画促進事業など部会員各自へ、担当業務分担について決定しました。

その他として、2ヶ月に一回発行しております「自治協だより」について全戸配布になっておりますが、「回覧しても取らずに残る」「読まずに捨てた」という現状もある様に聞いております。記事の内容について、皆様の興味、知りたいこと等の内容向上を目指して行きたいと思っておりますので、今後も「こういう情報があるよ」と気軽に、事務局を通して総務部会にお知らせください。

★ 回覧板・改訂の目的：「地域共生社会を目指そう！」のアピール・発信

- ①地域共生社会推進の啓発ツールとして回覧板を用いる
- ②地域共生社会の実現に向けて、市民の一人として何ができるか意識変容と行動変容につなげるために！

「気付いて見守る」「お互いに支え合う」「交流して地域に住む人を知る」など

- ③東広島市は「東広島市地域共生社会推進条例」を制定しています。

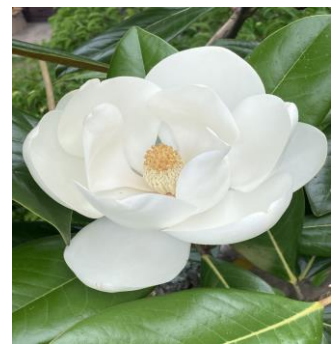
「地域共生社会の構築は行政中心ではなく、住民が主体的に動く活動が大切！

★災害時避難要支援者「個別避難計画」は令和3年5月に災害対策基本法の改正で市町村の努力義務になりました。この計画は災害時に支援の必要な高齢者や障害者一人一人の避難方法を各市町村で決めておくものですが、東広島市では平成25年10月に各地住民自治協議会と契約を交わして地域の共助による支援活動を行っています。当住民自治協議会は契約時から各地区の区長さんのご協力のもと100%の個別計画の作成と支援者の皆さまのご協力を頂いております。今年度も6月下旬に16件の支援要望があり、区長さんにご尽力いただいております。引き続き既存の要支援者を含め、宜しくお願い致します。（部会長 山崎和美）

○ 防犯・防災部会

【学区防災訓練の実施報告】

コロナ感染拡大が収束しない中6月26日（日）9時から、防災倉庫A（国分寺駐車場）、C（地域センター）、D（上助実集会所）の3カ所で、①防災資機材の点検・整備・操作訓練、②想定される災害への対応訓練をテーマに学区防災訓練を実施しました。参加者は51名でした。（防犯防災部会長 渡橋 誠）



《香りがよいタイザンボクの花》



○ 健康・生涯学習部会 《スポーツ教室の開催について》

スポーツ教室の事業の一環で6月25日(日)地域センターのホールにおいてダイソー女子駅伝部の岩本真弥監督をお招きして講演会を開催しました。

2年前の当初の計画では、ダイソー女子駅伝部の選手と一緒に陸上教室を行う予定でしたが、新型コロナ禍の影響で講演会という形での開催となりましたが、感染対策をとりつつではありましたがホールいっぱいの方に来ていただきました。

岩本監督からは、これまでの陸上人生を振り返ってのエピソードや陸上競技に対する思いを面白おかしく話していただきあっという間の1時間でした。

中でも印象に残った言葉は「選手には普段から強さと覚悟を持って競技に向き合わせ、速い選手より強い選手を育てる事で普段の生活態度や心の強さが生まれる」と聞き、岩本監督の競技に対する熱い情熱を感じました。

また今後は、自分を育てて頂いた恩返しとして、小学校と連携をして陸上教室の開催など地域貢献しつつ陸上のすそ野を広げてゆきたいと話しておられました。

私たち健康・生涯学習部会としても地元のダイソー女子駅伝部を応援しつつ、地域の子供たちの健全育成と地域の皆さんの健康と生涯学習の一助となれるよう頑張っています。

(部会長 岡田育三)



○ 地域活性化部会

①「令和4年度宝くじ一般コミュニティ助成事業」に申請した事業が採択されました。

助成金額 180万円

助成金使途 大太鼓購入、盆踊り文化保存用DVD作製及び備品整備

事業内容 東西条・このまちが好き！ 地理・歴史は人々をつなぎ郷土を愛し「伝えたい街の魅力や歴史」「郷土の歴史と共に盆踊りの記録」を残す

②吉士実盆踊り保存会では、令和元年度は大型台風10号の発生、令和2、3年度は新型コロナ感染症予防のために中止してまいりました。コロナ禍ではありますが、今後伝統ある吉士実盆踊りを維持・発展させていくために今年度は規模を縮小して開催を計画しました。

日本の伝統芸能を指導する者の高齢化に伴い、30歳代以降の子育て世代での指導者育成を目指し、6月から7月末まで毎週土曜日18時～19時半まで練習を行ってきました。また8月1日からは、平日の夕方、東西条地域センターを会場に練習を行います。8月14日(日)「吉士実ぼんおどり」、8月21日(日)「安芸国分寺 施餓鬼法要奉納盆踊り」に向け汗をかいていますので、お気軽にお越し頂き、一緒に踊りましょう。

③ 11月に予定しています「東西条まつり」について、7月16日(土)東西条まちづくり協議会理事会を開催し、規模を縮小して開催することに決まりました。なお今後コロナ感染症拡大状況が続けば、10月1日の理事会で開催の可否を検討いたします。次回会合までに催し物・参加団体・プログラムの準備を進めてまいります。また東西条まちづくり協議会の役員・理事に一部変更があり承認されました。(部会長 松原國昭) 《盆踊りの練習風景》 《7月2日地域センター主催：和文化まつり》

《宝くじ補助金のシール》



○ 環境美化部会 ★公共広場や公園としての親水公園・ビオトープ公園造りを予定しています。

この度「令和4年度市民協働のまちづくり活動応援補助金」事業に申請し、「耕作放棄地を活用したビオトープ公園造り事業」が採択されました。11月頃の完成を目指して活動を開始したいと思います。

計画している公園は、西条町北部にある「憩いの森」には規模的に及びませんが、子どもたちを中心にした3世代が住居の近くの施設として親しんで下さることを目的としています。また「自然の美しさや生態系の尊さを学ぶ情操教育の場」作りとしても活用していただきたいです。地域の皆さんの中には、農業従事者の方がたくさんおられます。昔から田畑を耕して、自然に生息する生き物に長年触れられてこられた知識経験を子供たちに教えられる事で、「生きがい」に感じていただけたらと思います。地域の皆さんが楽しんでいただける地域のコミュニティ施設となる事を目指しています。

これからの事業施工・維持管理においては環境美化部会が所管となり、部会員皆様のご協力をいただきながら、子ども達の安全確保を最優先にした設備にしていきます。地域のまちづくり活動を通して子供たちを育むことができれば幸いです。地域連携を大切にして、学識経験者の方々の意見を取り入れながら、学校関係者やPTAとも連携して、自然環境の学習に役立つ施設になることを願っています。

≪ 設備の概要：部会長所有・耕作放棄地の田んぼ内に約200㎡ビオトープ公園を造る ≫

1. 草刈りを行いヘビなどの危険除去、トラクターで荒起こし・本起こし、水を引き・代掻きをする。
2. 100㎡は泥田のままで、カエル・ドジョウなどを入れる、残りの100㎡は底にブルーシートを張り那智黒石を入れて親水公園として魚を放つ、メダカ・フナ・カメ・ザリガニなど。
3. 常時ベンチ1台を設置、イベント時にはベンチを3台に、休憩用のテントも張る。
4. 溝掃除を行って、常にきれいな水を引き込むように、防水と水質浄化の技術を取り入れていく。
5. 今後の予定：7・8月施工計画の検討、9・10月作業活動、11月完成と周知広報、12月か翌年1月に第1回目のイベントを実施、反省・課題検討会、2・3月に維持管理活動を行います。



≪国分寺の南東・耕作放棄地を活用します≫

(環境美化部会長 土谷 敏英)



東広島市からのお知らせ・お願い

① 第32回東広島市生涯学習フェスティバルが11月5日(土)6日(日)、会場「東広島芸術文化ホールくらら」「市民文化センター」で行われます。東西条地域センターも出展種目(作品展示・講座展示・講座企画)を検討中。

≪趣旨≫主催所管：教育委員会・生涯学習部生涯学習課

今年度の生涯学習フェスティバルでは、今まさに社会全体で課題や話題として取り上げられているもの、他の地域や市全体に広めていきたいと思えるようなものを集め、市全体に発信したいと考えています。

そのため、各センターで日頃実施していただいている、様々な主催講座の中から、各センターの「イチオシ」を選んでいただき、その活動の成果を、ぜひ生涯学習フェスティバルで紹介してほしいと考えています。

≪出展条件≫「イチオシ」基準

- ① 社会や地域がもつ課題の解決につながるもの
- ② 学習活動の指導者等の育成につながるもの
- ③ 多様な機関と連携、協働して実施しているもの
- ④ 自センターでしかやっていないもの

※住民自治協議会の使命は「地域課題の解決」です、そのお手伝いが地域センターの生涯学習の推進だと思う。ポストコロナの社会では、自らの存在意義と他者との相互の協力関係をより強め、諸課題に向き合うことが大事。